

3月に入り、未だに多くの地域で断水が続いているが、多くの自治体の協力のもと、志賀町と穴水町においては、すべての地区で通水が完了したと発表があった。

また卒業シーズンを迎え、集団避難先の町で、仲間と一緒にその時を過ごした子どもたち、被災住民が協力して、避難所となっている学校を開放し、学び舎で卒業式を迎えた子どもたちがいた。地元の新聞には、門出を祝う大人たちの言葉や卒業生たちの震災へ正直な気持ち、未来を描こうとする力強い言葉が数多く紹介された。

*

*

*

2024年3月3日(日)

御陣乗太鼓保存会(白山市 白山比咩神社)

名舟町の白山神社(奥津姫神社)で毎年1月2日に行われていた初打ち奉納は、今回の地震で叶わなかった。しかし、このような状況だからこそ、けじめをつけて前に進みたいというメンバーの想いを汲み、本社(もとみや)である白山比咩神社が、年に一度の豊年講春季大祭に合わせて、奉納演奏の機会を提供された。

五穀豊穡の祈念式典の中では、「名舟町 御陣乗太鼓」の名前も読み上げられた。南志見住吉神社(奥津姫神社も兼任)の中川直哉宮司や地元の農業関係者たちが見守る中、初打ち奉納演奏を行った。その後、外にいる参拝者に向けて演奏を披露した。

当財団からは演奏に係る諸経費を支援し、東京から佐々城清常務理事が参列し一緒に玉串を捧げられた。

演奏後、本宮の村山和臣宮司が、「能登半島にとって“祭り”は特別な存在であって、こころの支えとなるものである。復興のためにも、必ず守り残していかなければいけない。」とお話しされた。



(白山比咩神社 写真提供)



寒空の下、境内は御陣乗太鼓の演奏を心待ちにしていた多くの参拝客で埋め尽くされていた。その中には、周辺に避難されている住民たちの再会を喜ぶ姿があり、演奏に涙を浮かべている。「会いたかった。元気なんやね」「生きとってくれたんやね」「なんか、時間が動き出した気がするね。負けとられんわ」と輪島の言葉があちらこちらから聞こえてくる。

演奏には、保存会の後継者候補である若手メンバーの大宮正晴さん、南雄輝さんも舞台に立ち、雪がうっすらと残る石畳を素足で踏みしめ、鬼気迫る動きをみせた。

名舟町から 100 キロ以上離れた場所で、2 ヶ月ぶりに力強い故郷の音が空に響き渡った。これから、様々なイベントを通して復興の道しるべとして被災地を勇気づけていってくれるだろう。



(白山比咩神社 右上・下写真提供)



2024年3月10日(日)

輪島高洲太鼓(浅野太鼓 studio・道の駅めぐみ白山)

輪島高洲太鼓が、白山市の「道の駅めぐみ白山」で演奏を行った。白山・加賀市の子ども和太鼓チームの和太鼓サスケとチビッ子九谷太鼓とが「復興を叶える力、能登へ」と題し、復興支援のために企画したイベントである。以前から輪島高洲太鼓と舞台で交流があり、子どもたちが、自ら出来ることを考え、大人たちと話し合い、実現された。

11時30分と14時の2部公演となり、輪島高洲太鼓は1部に出演した。震災後初めての演奏とあって、浅野太鼓 studio で早朝練習を行い、本番に挑んだ。

当日、同スタジオでは御陣乗太鼓保存会、輪島和太鼓虎之介も練習しており、建物中が輪島のリズムに包まれていた。



会場には、白山・加賀市の太鼓仲間やそのご家族が駆けつけ、輪島高洲太鼓の演奏に温かい声援が送られた。二人一組で演奏する輪島まつり囃子が始まると、互いに目配せをしながら阿吽の呼吸で打ち鳴らしていく。体からリズムが湧き上がり、その表情は、本当に楽しそうだ。その姿に、保護者の方々が思わず微笑む。今春から小学校1年生になる子どもも参加され、一生懸命な姿に観客からは大きな拍手があがった。

第2部は、浅野太鼓スタジオで練習していた輪島和太鼓虎之介が急遽出演したと伺った。子ども同士の絆が、大人たちの心を奮い立たせてくれている。





23日には金沢市の金石港において、輪島朝市のシンボルであるオレンジ色のテントがずらりと並んだ。輪島市の朝市通りは地震と火災により、現在も見通しが立たない状況ではあるが、少しでも一歩前へと、出張朝市が開催された。その場所でも、輪島高洲太鼓が演奏を披露されたことが地元の新聞に掲載された。

2024年3月16日(土)

御陣乗太鼓保存会(金沢駅鼓門下)

石川県、福井県の各駅で、北陸新幹線延伸開業の記念イベントが行われた。金沢駅鼓門下では御陣所太鼓保存会や能登獅子、加賀鳶が披露され、終日多くのお客様で賑わった。

自分たちの村を守るという信念が受け継がれ、被災地を鼓舞するかのような力強い太鼓に、あっという間に人だかりができた。地元の方々だけではなく、御陣乗太鼓を観るだけのために県外から駆けつけたという方もいた。演奏後は多くのファンが列をなし、メンバーと言葉を交わして、写真撮影を行った。その輪の中に、被災地でボランティア活動をされている女優の常盤貴子さんが駆けつけ、輪島にエールを送られていた。





2024年3月24日(日)

輪島和太鼓虎之介(埼玉県 大宮ソニックシティ)

第26回日本太鼓ジュニアコンクールの石川県代表として、輪島和太鼓虎之介が22日に大宮ソニックシティにてリハーサルを行った。震災直後から出場まで様々な葛藤があり、「太鼓を打ちたい」「太鼓を打って欲しい」とたくさんの想いを背負って、限られた時間の中で練習に取り組んだ。地元の石川県太鼓連盟からは宿泊費を、日本太鼓財団からは交通費の支援をそれぞれ行った。

練習後、佐々城常務理事より本大会の刻印が入った記念バチがプレゼントされた。





本番には、輪島和太鼓虎之介の保護者の方や、石川県太鼓連盟の米田直樹会長、中橋幸雄事務局長らも応援に駆けつけ、演奏を見守った。演奏終了後、橋爪朱宗代表が「舞台に立って堂々と演奏してくれた。本当にありがとう。ここに来られた、演奏した、それが何よりも大事」と選手達に労いの言葉をかけていた。同団体は特別賞を受賞された。

また、表彰式後、県外出場者からの温かいメッセージが寄せ書きされた横断幕が、当財団から渡された。



2024年3月31日(日)

輪島和太鼓虎之介(金沢市犀川)

能登半島復興応援イベントとして、金沢市の犀川さくらまつりで、輪島和太鼓虎之介が30分ほど演奏を行った。今回は、金沢在住のOB、OGも参加し、イベントを盛り上げた。





演奏後、先の出演依頼が増えてきて喜ばしい反面、輪島に練習場がないことが悩みだと話して下さった。現在、浅野太鼓 studio が太鼓の預かりと練習場所の無償提供を行っているが、輪島からの距離を考えると、頻繁に練習することはできない。また、ライフラインでは断水の影響がいまだに大きく、毎日水を取りに行く生活が続いている。3月末現在でも8,000人以上が避難生活を送っていると報じられており、生活再建にはまだまだ時間がかかる。

(公財)日本太鼓財団 3月分支援 内訳

団体名	支援内容	金額
御陣乗太鼓保存会	交通費支援	23,664
	出演料など 3/3	250,000
輪島和太鼓虎之介	交通費支援	32,502
	横断幕 3/24	38,500
	記念バチ 3/24	20,185
輪島高洲太鼓	交通費支援	44,243
御神事太鼓保存会	交通費支援	4,743

合計

413,837

(2024年4月3日)

*

*

*

引き続き多くの方々からご寄付を頂いており、寄付金の累計額は 4 月 3 日現在で、8,533,329 円となりました。

心より御礼申し上げます。

お預かりした寄付金は大切に使ってまいります。

収支計算書(4/3 現在)

(単位:円)

収入		金額	属性	備考
1/5	全九州太鼓連合	1,000,000	地区	
1/6	関八州太鼓連合	100,000	地区	
1/9	東北太鼓連合	300,000	地区	
1/18	浅野太鼓楽器店	1,000,000	賛助	
1/27	河合 光夫	10,000	その他	シニアコンクール出場者
1/29	福井県太鼓連盟	30,000	支部	
1/29	松本 弘昭	35,000	その他	シニアコンクール出場者
2/1	東京都支部	100,000	会員	
2/2	櫛引 秀明	50,000	その他	シニアコンクール出場者
2/2	浅野 義幸	100,000	その他	浅野太鼓楽器店 17 代当主
2/6	岡山県支部	110,000	支部	
2/7	宮城県太鼓連絡協議会	150,000	支部	
2/8	北海道道東支部	30,000	支部	
2/9	茨城県支部	95,000	支部	
2/13	千葉県支部	100,000	支部	
2/13	岐阜県太鼓連盟	100,000	支部	
2/13	岐阜県太鼓連盟獅子の会	50,000	その他	国文祭ゲスト団体
2/13	全九州太鼓連合	2,805,701	地区	
2/14	神奈川県支部	50,000	支部	
2/16	佐々城 清	1,000,000	本部	常務理事
2/16	高野 右吉	10,000	その他	副会長
2/16	宮城県太鼓連絡協議会	20,000	支部	
2/16	滋賀県支部	50,000	支部	
2/18	兵庫県支部	200,000	支部	
2/26	日本太鼓財団事務局	143,000	本部	
2/29	静岡県支部	100,000	支部	
3/1	奈良県支部	162,000	支部	
3/4	台湾太鼓協会	500,000	その他	
3/7	北海道道北支部	132,628	支部	
3/11	宮本卯之助商店	1,000,000	賛助	
3/14	栃木県支部	106,984	支部	

3/15	群馬県支部	98,000	支部	
3/18	和歌山県支部	130,000	支部	
3/18	北海道道央支部	25,000	支部	
3/19	長野県支部	540,537	支部	
3/21	西岡 知則	30,000	その他	シニアコンクール出場者
3/21	愛知県支部	257,632	支部	
3/26	NPO 法人てほへ	150,000	その他	志多らグループ会社
3/27	(有)志多ら	350,000	その他	
3/27	ブラジル太鼓協会	440,000	その他	
3/28	西川恵美子	50,000	その他	技術委員
3/28	北海道道南支部	150,000	支部	
3/29	NPO 東京都太鼓連合	100,000	その他	
3/29	日本太鼓財団東京都支部	500,000	支部	
3/29	日本太鼓財団	10,000		
3/29	日本太鼓財団島根県支部	100,000	支部	

計 12,571,482

支出		金額		備考欄
1/11	輪島支援物資	121,741		
1/19	穴水/能登町/志賀町	130,080		
1/27	志賀町/輪島	18,415		
2/8	名舟町	54,780		
2/11	輪島	28,534		
1~2月	各チーム交通費	67,714		
3/28	御陣乗太鼓保存会	250,000		
4/1	虎之介バチ	20,185		
4/3	横断幕	38,500		
3月	各チーム交通費	105,152		

計 835,101

収支差額	11,736,381
------	------------